

研究名：乳幼児眼疾患の発見・受診経路と初診時期の調査

1. 研究の目的

乳幼児眼疾患のよりよい治療のためには早期発見と的確な診断が必須です。しかし乳児期に積極的に眼科検診を導入している地域は少なく、重症疾患を早期に発見するための対策は十分とは言えません。

本調査研究の目的は、国立成育医療研究センターに精査加療目的で紹介された乳幼児の重症眼疾患（先天白内障、先天緑内障、網膜芽細胞腫、網膜硝子体異常）について、発見から受診までの経路、初診時期などの実態を調査し、早期発見のための課題を検討することです。2002～2008年、1992～1998年の調査と比較して、近年の傾向と課題について検討をいたします。

2. 研究の方法

- ① 研究調査対象：2010～2023年12月までに、当センター眼科に初診された初診時0～6歳の先天白内障、先天緑内障、網膜芽細胞腫、網膜硝子体異常の患者さん
- ② 研究期間：2024年5月～2026年3月
- ③ 研究方法：診療カルテから後方視的に調べ、該当項目について患者さんの数をカウントします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

先天白内障、先天緑内障、網膜芽細胞腫、網膜硝子体異常の患者数
患側、性別、家族歴・既往歴の有無、主訴、発見・受診経路、初診年齢を分類して数を調査します。

- ※ 患者さんの氏名やID、眼科検査結果など個人を特定できる情報は調査対象ではなく、該当項目の患者数だけ調査します。

4. 試料・情報の公表

研究の成果は学会や学術誌で公表いたします。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部 眼科

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

本調査は患者さんの数の調査のみで、対応する個人の情報を収集することはありません。また当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年8月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○連絡先：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部眼科 診療部長 仁科幸子
住所：東京都世田谷区大蔵2-10-1
電話：03-3416-0181

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部眼科 診療部長 仁科幸子